



TKK 共通シラバス

1. 科目名	地球環境論（環境政策ビジネス研究）				
2. 教員名	中 篤 一 憲		3. 担当大学	神戸学院大学	
4. 対象学年	3年	5. 開講時期	後期	6. 単位数	2単位
7. 授業の目的・到達目標（神）、授業のねらい及び具体的な達成目標（工）、授業の概要（内容）・到達目標（東）					
<p>【授業の目的】</p> <p>地球環境問題の解決策を考える上で、経済学の視点から考えることは必要不可欠である。そのため、ミクロ経済理論に基づく環境経済学の基礎的な考え方を習得し、環境問題が発生する経済的要因、最適な資源配分の達成、環境政策の問題点および望ましい政策のあり方等に関して、理解を深めていくことを目的とする。また、経済学で用いられる数学に関しては適宜紹介する。なお、本講義は現代社会学科および社会防災学科のディプロマポリシー2（思考力・判断力・表現力等の能力）に関連する。</p> <p>【到達目標】</p> <p>本講義は環境問題を経済学的視点から分析するために、環境経済学の基礎理論およびその応用を理解することを目標とする。具体的には、①環境問題をどのように経済学的に考えるのか、②環境問題を解決するために、どのような手段が有効なのか、③環境をどのように評価するのか、ということについて、図を用いながら説明することができる。</p>					
8. 授業のキーワード（神）					
費用便益分析、消費者余剰、生産者余剰、社会的余剰、市場の失敗、外部性、公共財、規制的手段、環境税、補助金、環境評価、支払い意思額、受取補償額					
9. 授業の進め方（神） 授業の方法（東）					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義はパワーポイントを用いて説明する。 ・ 講義資料はmanaba もしくはOneDrive よりダウンロードし持参する。 （講義内での資料の見方は、印刷して持参、ノートPC・タブレット・スマホで見る等、どのような形態でも構わない） ・ 講義終了後に講義に関する質問やコメントを書いてもらい、次の講義の最初に教員が質問に答えたり、コメントを紹介するなどして情報共有をはかる。 					
10. テキスト、参考書、指定図書（神）					
<p>参考図書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日引聡・有村俊秀『入門 環境経済学』（中公新書、2002） ・ 栗山浩一・馬奈木俊介『環境経済学をつかむ 第3版』（有斐閣、2016） 					
11. 授業時間外に必要な学習（神） 事前、事後に受講してほしい講義等（東）					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前学習として、講義の対象となる講義資料を前もって読んでおくこと（目安として1時間程度） ・ 事後学習として、講義で出てきた図を用いて自分で一から説明する、講義資料の練習問題を解くなどして、講義内容を再確認すること（目安として1時間程度） 					

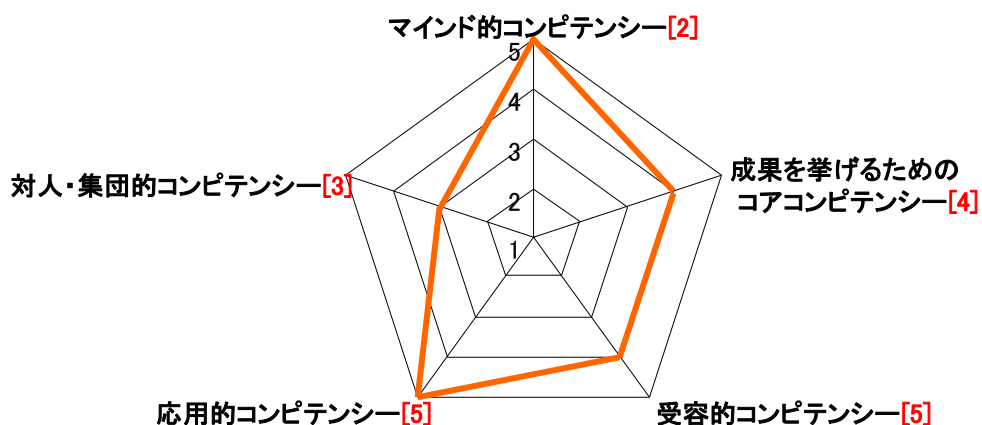
12. 提出課題など（神）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中間テスト、期末テストを行う。 ・ 中間テスト受験者、期末テスト受験者に対して、テストの成績が悪かった場合に任意で追加レポートの提出を認める（ただし、課題については教員から指定する）。
13. 成績評価方法・基準（神）、成績評価方法及び水準（工）、評価の方法・基準（東）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中間テスト（40%）、期末テスト（60%）を基準として、追加レポートおよび受講態度（積極的な発言や質問等）を含めて総合的に評価する。 ・ 期末テスト後の追加レポートの提出資格は、中間テストおよび期末テストの両方を受験すること。
14. 履修するにあたって（神）、学生へのメッセージ（工）、授業時間外学習（予習・復習）・履修上の注意事項（東）
<p>講義内容に関する質問、地球環境だけでなく防災をはじめとする様々な公共事業に関する質問、私の研究に関する質問など歓迎します。気軽にお声がけください。</p>
15. 参考（オフィスアワー（工）等）

【授業計画（神）（東）、授業計画及び準備学習（工）】

講義番号	主題	内容
第1回	ガイダンス	本講義の概要および目標
第2回	消費者行動と生産者行動(1)	需要曲線を理解する：効用最大化問題、需要曲線、消費者余剰
第3回	消費者行動と生産者行動(2)	供給曲線を理解する：利潤最大化問題、供給曲線、生産者余剰
第4回	市場と社会の利益	市場のはたらきを理解する：市場均衡、社会的余剰
第5回	外部性と市場の失敗(1)	環境問題はなぜ起こるのか：外部性、市場の失敗
第6回	外部性と市場の失敗(2)	公共財がなぜ環境問題を引き起こすのか：公共財、フリーライダー
第7回	公共財供給問題としての環境問題	ゲーム理論によるアプローチ
第8回	中間テスト	中間テストと解説
第9回	最適な資源配分の達成	環境問題の下での資源配分、環境政策の比較
第10回	交渉による環境問題の解決	コースの定理、排出権取引

第 11 回	環境の価値評価 (1)	環境評価の考え方
第 12 回	環境の価値評価 (2)	環境評価の計測手法、適用事例
第 13 回	費用便益分析	費用便益分析の考え方、応用
第 14 回	期末テスト	期末テストと解説
第 15 回	到達度の確認	本講義のまとめと到達度の確認

【コンピテンシー】 ※コンピテンシーについての詳しい説明は[こちら](#)。



コメント

本講義では、「受容的コンピテンシー」と「応用的コンピテンシー」の向上を目指す。特に、情報収集力、論理的思考力、知識活用力、情報活用力、科学活用力の向上に力を入れる。